

「JSBC2018 に企業展示で参加しました」

JSBC2018(Japan Steel Bridge Competition 2018)が9月11日(火)～9月13日(木)に摂南大学で開催されました。JSBCは、学生自身が橋梁の設計、製作、架設、載荷を行い、“ものづくり”の真の楽しさを経験する大会です。

大会初日は開会式、架設競技、講演会、チーム紹介、交流会、大会2日目はデザイン投票、プレゼン競技、載荷競技、片づけ、表彰式、閉会式、大会3日目は企業展示、現場見学といったスケジュールで進行了しました。

企業展示は、大会9回目の年となる今年初めての試みであり、学生に橋梁の仕事を知ってもらい、橋梁に興味を持ってもらうために、日本橋梁建設協会および橋梁メーカー3社(計4ブース)が出展し、それぞれのブースで趣向を凝らした展示を行いました。競技終了の翌日にもかかわらず30名程度の学生が展示を見に来てくれました。展示は午前10時からスタートし、学生は4グループに分かれて各ブースを30分のローテーションでまわりました。

瀧上工業は、「溶接作業をVR体験する展示」を行いました。このVRでは溶接作業をリアルに疑似体験することができます。うまく溶接するには部材とトーチとの距離感を掴むことがポイントです。VR体験した学生からは「実際の溶接と感覚が似ている」「距離感が難しい」「職人さんはこんな難しいことをしているのか」との声があり、とても楽しんでいる様子でした。VRの待ち時間には、企業紹介、橋梁メーカーの仕事説明、質疑応答などを通して学生と交流しました。

企業による展示は今年が初めての試みで、学生に楽しんでもらえるか少し不安もありましたが、展示会場の雰囲気は良く、学生の反応はとても良好でした。競技を通して、設計、製作、架設の経験をしている学生が、自分たちの作った橋と比較して、本物の橋とはどんなものか知ることができる良い機会になったと思います。この展示を通して、少しでも橋梁に興味を持ってもらえたら嬉しいです。

企業展示にあたって、会場を取り仕切りくださいました山口先生(大阪市立大)、田中先生(摂南大)、永田先生(名古屋工業大)、運営スタッフとしてセッティングくださいました摂南大学の学生の皆様、ならびに関係者各位様のご協力のもと展示することができました。ここに、感謝の意を表します。

最後に、瀧上工業のブースに参加した学生のアンケート結果と感想を紹介します。参加した学生の皆さんありがとうございました。

【アンケート】

○VR を体験したことがありますか？

はい……………15.4%

いいえ……………84.6%

○溶接を体験したことがありますか？

はい……………46.2%

いいえ……………53.8%

【学生の感想】

・溶接はやったことがなかったので、VR で気軽に体験できる場所がいいなと思いました。一定の距離を保つのが難しかったです。

・久しぶりに溶接できて楽しかったです。煙が出るところがリアルで良かったです。作業のイメージができるのも良かったです。実橋作業の一部を再現できると設計などもやりやすくなるかと思いました。

・VR 体験は初めてでした。技術力がすごいと思いました。

・溶接以外にも部材の切断等ができれば面白いと思います。

・VR 体験も溶接体験も初めてでしたが楽しかったです。

・自分がどこに溶接したか分かるのもっと楽しめると思います。

・実際に溶接体験できたような感覚になりました。

・溶接の現場で働いている人の大変さがよく分かりました。

・溶接の危険性の確認にもなって良いと思います。

・実際の溶接はもっと難しいのかなと思いました。

・VR で事前に溶接体験できていれば、ブリコンでの溶接の際に失敗しなかったかもしれないです。

・溶接の大変さを VR で知ることができて貴重な機会となりました。

- ・溶接の失敗例のようなものも VR でやってみたかったです。
- ・溶接を体験できて面白かったです。距離感が難しく、溶接の難しさが知れて良かったです。
- ・VR で体験することができることから、実際に現場に行く必要がなく手間が省けるので良いと思いました。
- ・VR で橋脚を上ることができるので、やってみたかったです。
- ・VR を体験したことがなかったのでとても楽しかったです。社会人になってからもこのようなものやってみたいです。
- ・VR で箱桁の中を歩いて橋の内部を見る体験があったらいいなと思います。
- ・初めての VR が溶接で楽しかったです。



瀧上工業ブース



溶接作業の VR 体験の様子 (その 1)



溶接作業の VR 体験の様子 (その 2)



企業紹介の様子